

ごみ処理方式選定に対するご意見と組合の考え方

自治体名	ご意見	組合の考え方
帯広市	<p>1 コストについては、各処理方式を比較する上で、次の項目についても更にデータ（推計値）を示す必要があると考える。</p> <p>①処理方式ごとの将来的な毎年度の分担金の推計額 ②処理方式ごとの国からの交付金額、交付税措置額（将来の交付金額や交付税措置額が現段階で不透明でも、判断基準の一つとして、いくつかのパターンを想定した金額の算出をしておくべき。）</p> <p>また、事業方式（DBO方式及びBTO方式）によるコストについても検討できないか。</p>	<p>今回の処理方式の選定にあたっては、建設費を出すことによって概ねのコストが比較できると考えており、交付金や交付税の詳細がわからなくても一定の比較はできると考えています。また、運転・維持管理費や売電収入も処理方式ごとに掲載しているため、選定の判断要素になると考えています。</p> <p>なお、事業費や財源内訳などについては、処理方式を選定した上で今後お示しいたします。DBO方式とBTO方式によるコストの違いは、金利によるものが主な内容となり、処理方式の選定には影響しないものと考えております。</p>
	<p>2 処理方式により、現状の収集方式の変更を余儀なくされる可能性がある。各構成自治体は、収集方式の変更についてどう考えるのか、収集方式変更の余地があるのか、又は、市民負担が増すことは避けるべきとの判断で変更の余地はないのか等、改めて確認しておく必要があるのではないか。例えば、コンバインド方式を候補とした場合に、生ごみの機械選別が前提であれば問題がないのであろうが、排出・収集段階から生ごみを分別する可能性があるのであれば、そこも確認する必要がある。</p>	<p>組合としては、収集・運搬から最終処分までの全体についてコスト以外にも住民の分別負担など、様々な要素から最も望ましい処理方式を選定したいと考えています。</p> <p>収集区分の見直しの検討等にあたっては、収集・運搬の見直しに伴うコストや収集区分の見直しに対する住民理解などをもとに、整理することが適当と考えておりますので、構成市町村の皆様からご意見をお伺いします。</p>
	<p>3 ストーカ方式及び流動床方式の2つの方式に現時点で絞り込む理由について客観的な説明が必要。この2つの方式に対して、コンバインド方式を除外とする根拠が不明。もし除外しようとするのであれば、様々な観点から客観的な検証結果を提示する必要がある。</p>	<p>1つの処理方式を選定するため、比較検討を行った結果、2つの処理方式の評価がほぼ同程度となったものです。</p> <p>比較を行うにあたっては、◎、○、△の評価後、経済性に重点を配分したものなど3つのパターンで点数化しましたが、いずれの評価においてもストーカ式が最上位、流動床式が次点となりました。〔資料2参照〕</p> <p>なお、数値で表せない項目についても、定性評価の上、◎、○、△の評価に反映させています。</p>
	<p>4 重要度の異なる評価項目について、◎、○、△という同じ重みで評価しているが、◎、○、△の数だけの比較評価では、議会、住民説明等の対外的な説明を求められる場面では十分な説得力を持つものとは言えない。</p> <p>重点的な評価項目を選定するとともに、その重要度に応じて傾斜配点（点数化）し、客観的に比較検討できることが、対外的に客観的な説明をする際には必要と考える。</p>	<p>同上</p>
	<p>5 更に細かい条件設定をした上でのプラントメーカーへの聞き取り結果も提示願いたい。</p>	<p>現在、ストーカ式、流動床式のほか、コンバインド方式も含む3方式について、プラントメーカーに追加の聞き取りを行っています。結果については次回の検討会議で報告いたします。</p>
	<p>6 有識者会議で出た意見や見解を、処理方式の絞り込みを行うとする段階で、どのように取り入れ、どのように評価・判断したのかを示すべき。</p>	<p>有識者会議は、構成市町村にご判断をいただくために専門的な見地から助言をもらうことを目的に設置したもので、有識者の意見をもとに必要な応じ修正を加え、検討会議に資料としてお示ししています。</p> <p>なお、有識者の意見をいただきながら評価項目や評価方法を設定してきており、評価の結果について概ね妥当との意見をいただいております。</p>

自治体名	ご意見	組合の考え方
音更町	1 第10回の検討会議では処理方式を絞り込むという提案がありませんでしたが、今回処理方式の絞り込みが議題となっています。絞り込みを行う理由の説明がなかったため、対外的に説明ができません。明確な絞り込みを行う理由を明示していただきたい。	1つの処理方式を選定するため、比較検討を行った結果、2つの処理方式の評価がほぼ同程度となったものです。
	2 第10回の検討会議で提示された各プラントメーカーからのアンケート結果は「速報版」ということで、説明では条件等で不明な点（回答数値に条件を付している等）があるということで、精査を行うとのことであります。今回の会議では精査後のアンケート結果が示されていないので、社名は伏せていいので、詳細な9社のアンケート結果の提示をお願いします。プラントメーカーのアンケート結果は、現時点でどのような判断をするのにも、最も基本的かつ重要な情報がありますので、ご検討をお願いいたします。	速報値からさらにプラントメーカーから聞き取ったものについては、別紙のとおりとなります。なお、回答のあった9社のうち1社については一部未回答の項目があり、比較ができないため評価対象から除外いたしました。
	3 建設コスト、維持管理費、環境面など組合として優先する項目をまず決めてから、点数化に重点配分を行い、そのうえで判断する方法もあるのではないのでしょうか。	重点配分を行う際には、「安全性・安定性」、「経済性」、「環境性」について重み付けを行う必要があることから、皆様のご意見をいただきたいと思っております。◎、○、△の評価に対して経済性に重点を配分したものなど3つのパターンで点数化しましたが、いずれの評価においてもストーカ式が最上位、流動床式が次点となりました。〔資料2参照〕
	4 現在の判断項目のほかに、各構成市町村の収集運搬の費用に対する項目も加えるというのはいかがでしょう。新中間処理施設ができたことによって、構成市町村の収集運搬コストに多大な影響を及ぼす処理方式は避けていただきたい。	組合としては、収集・運搬から最終処分までの全体についてコスト以外にも住民の分別負担など、様々な要素から最も望ましい処理方式を選定したいと考えています。収集区分の見直しの検討等に当たっては、収集・運搬の見直しに伴うコストや収集区分の見直しに対する住民理解などをもとに整理することが適切と考えておりますので、構成市町村の皆様からご意見をお伺いします。
	5 現時点で建設候補地が2箇所あるかと思いますが、場所によっては建設コストが大幅に変わることがあるかと思いますが。今回のアンケートでは建設候補地の違いによる建設費用の差も反映されているのでしょうか。	処理方式の選定において、建設候補地による大きな影響はないものと考えております。
	6 処理方式の絞り込みは大きな話題でありますので、決定しましたら議会や町民への説明が必要と考えております。すべてが決まってから説明を行いますと、批判が大きくなると思っておりますので、音更町のスタンスとしては、逐次情報提供していくという考え方でありまして、現時点で、いつ頃議会や町民に説明ができるかお教えいただきたいので、よろしく願いたします。	組合としては、11月の副市町村長会議において基本構想案を報告し、パブリックコメントの実施を考えていることから、情報提供のタイミングは、基本構想案の公表の時点になるものと考えております。議会への検討状況の報告に当たっては、随時協議させていただきたいと考えております。
芽室町	1 評価の集計結果からいくと、◎と○の数から2方式への絞り込みは理解できます。ただ、今後、対外的に説明していく場合に、2方式が優れ、他の方式が劣っているという明確な理由をわかりやすく示した資料等がほしいところです。	1つの処理方式を選定するため、比較検討を行った結果、2つの処理方式の評価がほぼ同程度となったものです。比較を行うにあたっては、◎、○、△の評価後、経済性に重点を配分したものなど3つのパターンで点数化しましたが、いずれの評価においてもストーカ式が最上位、流動床式が次点となりました。〔資料2参照〕
	2 評価方法については有識者会議で検討されたところですが、2方式への絞り込みの有識者会議の意見が反映されているのでしょうか。専門的知見のある有識者の意見が、判断する上で大きなウエイトを占めると思っています。	有識者の意見をいただきながら評価項目や評価方法を設定してきており、評価の結果についても概ね妥当との意見をいただいております。なお、処理方式の選定については、有識者から具体的な処理方式は示されていません。
幕別町	1 ストーカ式、流動床式、コンパインド方式で検討すべきではないか。	ストーカ式、流動床式のほか、コンパインド方式も含む3方式について、プラントメーカーに追加の聞き取りを行っています。結果については次回の検討会議で報告いたします。